



平成28年(ワ)第380号放送法遵守義務確認等請求事件(第1事件)
 平成28年(ワ)第696号放送法順守義務確認等請求事件(第2事件)
 平成29年(ワ)第137号放送法順守義務確認等請求事件(第3事件)
 平成29年(ワ)第466号放送法順守義務確認等請求事件(第4事件)
 第1事件原告 宮内正厳
 第2事件原告 溝川悠介外44名
 第3事件原告 北野重一外57名
 第4事件原告 高桑次郎外21名
 被告 日本放送協会



証拠説明書 (29)

2020年1月14日

奈良地方裁判所 民事部 合議2係 御中

原告ら訴訟代理人
 弁護士 佐藤 真理



号証	標目	原本 写し	作成 年月日	作成者	立証趣旨
甲261 の1	目で見る投票率	写し	2017/1	総務省 選挙部	衆議院議員総選挙及び参議院選挙の投票率の推移等
甲261 の2	国政選挙における投票率の推移	写し	2015/9/2 9	総務省	2017年衆議院議員総選挙の投票率が53.66%、2019年参議院選挙の投票率が48.8%であったこと等
甲262	私たちが拓く日本の未来	写し		総務省・ 文部科学省	若い世代の投票率が年々低下しており、2014年衆議院総選挙の20歳代の投票率は32.58%であったこと等
甲263	放送の自由—その公共性を問う	写し	2019年11 月20日	川端和治 弁護士	最高裁大法廷は、「NHKが公共放送であるための条件を示している」と読むことができる。」と指摘していること等
甲264	報道の自由への規制とはなにか	写し	2020年1 月25日	永田浩三	NHKのテレビニュースが権力監視の面からも、市民の知る権利に応えるという点でも、不十分で物足りなく、疑問だらけであること等

甲265	「表現の不自由展・その後」のその後	写し	2020年1月20日	永田浩三	国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」の企画展「表現の不自由展・その後」が、わずか3日で中止され、仮処分申立などの経過を経て、再開され、7日間、人数制限等の下で、入場・閲覧できるに至ったが、この一連の経緯の詳細を、同企画展の実行委員の一人であった永田教授が明らかにしていること、物が自由に言えないような戦争の時代への逆戻りを許さないために市民とメディアが連帯する必要があること等
甲266	慶賀の空気を煽ったNHKの天皇即位報道	写し	2020年1月20日	醍醐聰	NHKは3時間もの特番生中継で祝賀パレード報道を行い、改元で世の中が変わるかのような空気を醸成したこと、憲法の3大原則を無視した儀式報道を行ったこと等



平成28年(ワ)第380号放送法遵守義務確認等請求事件(第1事件)

平成28年(ワ)第696号放送法順守義務確認等請求事件(第2事件)

平成29年(ワ)第137号放送法順守義務確認等請求事件(第3事件)

平成29年(ワ)第466号放送法順守義務確認等請求事件(第4事件)

第1事件原告 宮内正厳

第2事件原告 溝川悠介 外44名

第3事件原告 北野重一 外57名

第4事件原告 高桑次郎 外21名

被告 日本放送協会



原告準備書面(24)の字句訂正書

2020年1月14日

奈良地方裁判所

民事部合議2係 御中

原告ら訴訟代理人

弁護士 佐藤真理



原告準備書面(24)の14頁(4)の
5行目の(甲211)を(甲200)と訂
正する。

以上